

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	北斗の拳「御酒飲ラリー」 ^{ごしゅいん} 広域ファン集客事業
事業主体 (連絡先)	佐久商工会議所 (長野県佐久市中込 2976-4 TEL0267-62-2520)
事業区分	(6)オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業 (8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,482,125 円 (うち支援金: 1,902,000 円)

事業内容

北斗の拳のブランドを借り、新たな客層の需要を掘りおこし、地域外からの交流人口の創出を図る事で、地場産業の振興と、飲食業の活性化、改めて地酒の美味しさを知る機会とする事を目的に以下の事業を実施した。

《北斗の拳×御酒飲ラリー》

内 容: 飲食店で地酒を飲むと、御酒飲帳と御酒印、お店からの特典がもらえ、御酒印を集める事で景品(北斗の拳デザインの酒罎7枚と、北斗の拳ラベルの地酒15枚)がもらえる。

実施期間: 11月1日(木)~2月22日(金)

参加店舗: 67店 (昨年対+22店)

プレス発表: 10月29日(月)

参加企業: 15社(TV5社、新聞7社、ラジオ2社、他1社)

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・景品の酒罎は388個、地酒は226本交換することとなった。最低4,524杯のお酒が飲食店で提供された。
- ・御酒印15枚(コンプリート)の方を対象にしたアンケート結果では、飲食店で取扱いしているお酒のラインナップを組み合わせて、平均3.7のお店を回って集めたという結果となった。(117名が合計433店回った)
- ・酒販と飲食店で新たな地酒の契約等商取引が生れた。
- ・コンプリートした人のうち、約1/4は地域外からの参加者であり、地酒を広く情報発信・PRに繋がった。
- ・TV局5社、新聞社7社、ラジオ局2社、共同通信社、他)など多くのメディアが取材し放送・掲載をした。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・本事業を、長野県飲食業生活衛生同業組合・長野県酒造組合・長野県小売酒販組合連合会等と連携し、県下での取り組みとして広げていくことで、他県にない長野県だけの魅力を打出す事ができる。海外の日本酒ブームもありインバウンド需要が創出され、観光客などの誘引効果が高まることで域外マネーの獲得につながる。

飲食店や酒造などが地域を超えて有機的に結びつき経済効果を相互補完、日本酒やクラフトビール、ワインなど全国へ向けた発信へとつながり、知名度アップにつなげる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【プレス発表では、15社が集まり反響の高さが伺えた】

【目標・ねらい】

- ①地酒の普及・発信、地元愛の醸成
- ②飲食店や酒販店、醸造会社の振興
- ③地域外の誘客・域外マネー獲得
- ④メディア・報道機関を通じたPR

※自己評価【A】

【理由】料飲店の活性化だけでなく、取扱い地酒の増加など新たな商取引も生まれ、地域や世代を越えて大勢の人に地酒を知ってもらう機会となり、産業振興につながる効果をあげることができた。